

I. 「私は…全焼のささげ物よりも神を知ることを喜ぶ」(ホセア6:6):

ホセア6:6 私は慈しみを喜び、犠牲を喜ばない。全焼のささげ物よりも神を知ることを喜ぶ。

A. 私たちが神を知ること、神は喜びます。ですから、神が願うのは、私たちが「エホバを知ること」を追い求め「ること」です。

B. 私たちが神を知るとは、私たちが神に仕えることよりも重要です:

1. 私たちは、神に仕えるだけで、神を知ること、神を追い求めないのではありません。

2. 私たちが神に仕えることは、私たちが神を知ることに基づいています。

ホセア4:6 私の民は、あの知識(神の律法)に欠けるゆえに滅ぼされる。あなたがあの知識を捨てたので、私はあなたを捨て、それゆえあなたは、私にとって祭司とならない。

II. 私たちは、神に対する感覚と神を知る全き認識を持つ必要があります:

Ⅱペテロ1:2 恵みと平安が、神と私たちの主イエスを知る全き認識の中で、あなたがたにますます満ちあふれますように。3:18 しかし、私たちの主また救い主イエス・キリストの恵みと知識の中で成長しなさい。栄光が今も、また永遠の日に至るまでも彼にありますように。アーメン。

A. 神に対する感覚とは、神との関係の感覚です。これが示していることは、人が神との親密な交わりの中に生きていて、神に対して正しい純粋な良心を持ち、保っているということです:

Iテモテ1:19 信仰と正しい良心を保って戦いなさい。ある者は、それらを投げ捨てたために、その信仰について破船してしまいました。

1. 私たちの再生された霊は、神に対する鋭敏な感覚、すなわち、神に対する知覚を持っており、神と行き来し、神の事柄を感じ取ります。

2. 神に対する感覚を持つことは、霊の中で、神にしたがって生活することです。

B. 神を知る全き認識とは、経験上、神を知ることです:

1. 三一の神を知る全き認識とは、彼の神聖な命と神聖な性質に私たちがあずかり、享受することです。

2. Ⅱペテロ第3章18節において、主の知識とは、真理、すなわち、彼であるすべての実際と等しいです。このゆえに、主の知識の中で成長するとは、キリストが何であるかを認識することによって成長することです。すなわち、真理を認識することによって成長することです。

Ⅱペテロ3:18 しかし、私たちの主また救い主イエス・キリストの恵みと知識の中で成長しなさい。栄光が今も、また永遠の日に至るまでも彼にありますように。アーメン。

Ⅲ. 「どうか今あなたの道を知らせてください」(出33:13)。「彼は、ご自身の道をモーセに知らせ」(詩103:7):
出33:13 ですから、今、私があなたの目の中で恩恵を得ているなら、どうか今あなたの道を知らせて
ください。そして、私があなたを知り、あなたの目の中で恩恵を得続けますように。また、この国
民があなたの民であることを心にとめてください」。

詩103:7 彼は、ご自身の道をモーセに知らせ、彼のみわざをイスラエルの子たちに知らせられた。

A. 神の道を知るとは、神が事を行なう原則を知ることです。

B. 神の道とは、彼が私たちを対処する方法です。彼の道は、私たちの道よりも高いです。

イザヤ55:9 まことに、天が地よりも高いように、私の道はあなたがたよりも高く、私の考えている
ことはあなたがたが考えていることよりも高い。

C. 神の道とは、神が私たちに関して行ないたい事です。彼の道とは、彼が私たちに関して行なう選択です。

D. 私たちは、神の道を知ること、すなわち、神が私たちを対処する方法を知ることを学ばなければ
なりません:

1. もし私たちが自分のすべての路において主を認めることを学ぶなら、私たちは彼の道を認めるでしょう。

2. 神の民の間の大きな問題は、彼らがあらゆる事で自己を中心としており、自己の利益を謀って
いることです。

3. 今日の信者たちの間の大きな必要は、神の道を知ることと神の道を喜ぶこととを学ぶことです。

E. 啓示によってのみ、人は神ご自身を知ることができます。服従によってのみ、人は神の道を知る
ことができます:

1. 私たちは、神の啓示を得ることがなければ、神の道を受け入れることはできません。

2. 私たちはまず啓示を持たなければならず、そうしてはじめて神の道を受け入れることができます。

F. 私たちは神の道を知り、受け入れるために、神を私たちの父として知る必要があるだけでなく、
私たちの神としても知る必要があります:

1. 神を父として知ることは一つの事であり、神を神として知ることは違う事です。

2. 神を見たことのある人たちは、彼が神であることを知っています。ある日、神は私たちの目を開
き、彼が神であることを見させ、また彼が神であることを知らせてくださるでしょう。

3. 私たちは、自分が神の子供たちであるだけでなく、彼の奴隷でもあることを、見る必要があります。

4. もし私たちが神についての啓示を持ち、神としての彼に会うなら、私たちは彼を礼拝し、彼の
道を受け入れるでしょう。

G. 私たちの霊的前途のすべては、私たちが神の道を礼拝することができるかどうかにかかっています:

1. すべての真実な礼拝は、神を知って、神から啓示を受けることからやって来ます。

ヨハネ9:35 イエスは…言われた、「あなたは神の子の中へと信じるか?」。36…「主よ、それはどなたですか? その方の中へと信じることができますように」。37 イエスは彼に言われた、「あなたは彼を見た。あなたと話をしているのが、その人である」。38 彼は「主よ、信じます」と言って、イエスを礼拝した。

2. 神の道を受け入れることは、神の道を礼拝することです。

3. 私たちは、神を礼拝しなければならず、また彼が私たちを対処する方法を受け入れなければなりません。

4. 私たちの心は、神によって一つの点へともたらされて、神の御前でひれ伏して、次のように言わなければなりません、「あなたが選択する事のゆえに、私はあなたを礼拝します。また、あなたが私のために定めた事のゆえに、私はあなたを礼拝します」。

すべての真の礼拝は、神を知って、神から啓示を受けることからやって来ます。神に感謝します。私は彼を知っています。ですから、私は彼の御前にひれ伏して言います、「あなたがなされたすべてのことは正しいです。あなたは決して間違われません」。これが神の道を受け入れる方法です。

IV. 「私^があなたを知り…ますように」(出33:13):

A. 永遠の命とは、神聖な命であり、特別な機能を持っています。それは、神とキリストを知ることです:

ヨハネ17:3 永遠の命とは、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされた者、イエス・キリストを知ることです。

1. 神聖なパーソンを知るために、私たちは神聖な命を必要とします。

2. 信者たちは、神聖な命から生まれているので、神とキリストを知ることができます:

a. 一方において、神を知ることは、私たちの内側の命の成長と共に、徐々に増し加わります。

神聖な命が私たちの内側で成長すればするほど、ますます私たちは神を知ります。

b. 他方において、このように知ることは、私たちの内側の命を成長させます。

B. 「彼らはそれぞれ同じ国民に、またそれぞれ兄弟に教えて、『主を知れ』と言うことは決してない。それは、小さな者から大きな者まで、彼らがみな、私を知るからである」(ヘブル8:11):

1. この節において、神ご自身を知ることは、神の性質を知ることです。私たちは神の性質に触れるとき、神ご自身に触れ、神ご自身を知ります。

2. 神は彼の神聖な命を私たちの中へと分け与えることによって、最高の法則、すなわち、命の法則を、私たちの霊の中へと入れます。この法則は私たちの霊から、私たちの内側の各部分、すなわち、私たちの思い、感情、意志などへと広がり、いくつかの法則となります:

- a. 命の法則の機能によって、私たちは内側の命の方法において神を知ります。
 - b. 私たちが神を知るのは、単に外側の客観的な知識にしたがってではなく、命の感覚による内側の主観的な知覚においてです。
3. 神に対する私たちの内側の認識は、二つの手段によってやって来ます：
- a. 一つは、神の命から来る命の法則によってです。もう一つは、神の聖霊から来る油塗りの教えによってです。

ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。Iヨハネ2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。27 あなたがたの中には彼から受けた油塗りが住んでいるので、あなたがたは、だれにも教えてもらう必要はありません。彼の油塗りが、すべての事をあなたがたに教えます。この油塗りは真実であって、偽りではないのですから、油塗りがあなたがたに教えたように、彼の中に住んでいなさい。

- b. 命の法則はおもに、神の命の特徴である神の性質を私たちに知らせます。油塗りの教えはおもに、神ご自身を私たちに知らせます。

C. 神の御子は来て、真実な方、すなわち、真であり実際である神を知る理解力を私たちに与えてくださいました：

1. この理解力は、私たちの思いの機能です。それは、実際の霊によって照らされ、力づけられて、私たちの再生された霊の中で神聖な実際を理解します。

エペソ4:23 そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、ヨハネ16:12 私には、あなたがたに言うべき事がまだ多くあるが、あなたがたは今、それに耐えることができない。13 しかし彼、すなわち実際の霊が来る時、あなたがたをすべての実際へと導く。なぜなら、彼は自分から語るのではなく、彼が聞くことを語り、来たるべき事をあなたがたに明らかにするからである。

主イエス、神の御子が来られて、私たちが真の、実際の神を知る理解力を与えてくださいました。彼は肉体と成ること、十字架、復活という段階によって私たちに来られました。彼は私たちのために贖いを完成され、私たちは悔い改めて彼を信じたとき、彼を受けました。今や私たちは彼を信じ、彼を受け入れ、私たちの罪は赦され、私たちの暗くされた思いは照らされ、私たちの死んでいた霊は生かされました。さらに、実際の霊、すなわち啓示の霊が、私たちの存在の中へと入って来ました。これは、実際の霊が私たちの生かされた霊に加えられて、私たちの思いの中へと輝き、思いを照らしたことを意味します。今や私たちは、実際の霊で照らされた思いと生かされた霊を持っています。

2. Iヨハネ第5章20節の「知る」は、神聖な命の能力であり、私たちの再生された霊の中で、実際の霊によって照らされ新しくされた思いを通して、真の神を知ります。

Iヨハネ5:20 神の御子が来られて、真実な方を知る理解力を与えてくださったことを、私たちは知っています。そして、私たちは真実な方の中に、すなわち御子イエス・キリストの中にいるのです。これが真の神、また永遠の命です。

エペソ1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ、

3. Iヨハネ第5章20節において、「真実な方」、あるいは、「真実である方」が指しているのは、神が私たちに対して主観的になるということ、客観的である神が私たちの生活と経験において真実な方になるということです：

a. 真実な方は、神聖な実際です。真実な方を知るとは、この実際を経験し、享受し、所有することによって、神聖な実際を知ることを意味します。

b. これが示していることは、神聖な実際、すなわち、神ご自身は、かつては私たちに対して客観的でしたが、私たちの経験の中で主観的な実際になったということです。

Iヨハネ5:6 このイエス・キリストは、水と血を通して来られた方です。水によってだけでなく、水によって、また血によってです。そしてその霊は証しする方です。なぜなら、その霊は実際であるからです。

「真実な方」という表現の意味は何でしょうか？ 特に、「真実な」という言葉は何を意味するのでしょうか？ ここで「真実な」と訳されたギリシャ語の言葉は、「アレーシノス (alethinos)」で、本物、実際であり（「アレセイア (aletheia)」）、真理、真実、実際と同種の形容詞—ヨハネ1:14、14:6、17）、偽りと偽造の反対です。実は、真実な方は実際です。神の御子が私たち理解力を与えてくださったのは、私たちが知るため、すなわち、この神聖な実際を経験し、享受し、所有するためです。ですから、真実な方を知るとは、この実際を経験し、享受し、所有することによって、その実際を知ることを意味します。ヨハネの第一の手紙第5章20節は、神が経験の中で私たちの実際となられたことを示しています。神の御子は肉体と成ることを通して、また死と復活を通して来て、私たちに理解力を与えてくださいました。それは、神ご自身である實際を私たちが経験し、享受し、所有するためです。かつて私たちにとって客観的であった神が、今や私たちの主観的な実際となりました。

4. Iヨハネ第5章20節の「これ」が指しているのは、肉体と成ることを通してやって来て、彼が真の神であることを私たちに知らせ、彼の御子イエス・キリストにおいて彼と有機的に一にならせる能力を私たちに与えてくださった神です。

5. 「これ」は、真の神とイエス・キリストを指しており、彼の中に私たちはいます。これが含む事実とは、私たちがこの方の中に、すなわち、真実な方の中にいるということと、私たちが真実な方を知っているということです。

真実な方、またイエス・キリストの中にいない人にとって、彼らは二者です。しかし、私たちが経験的に彼らの中にいるとき、彼らは一です。すでに見てきたように、真実な方の中にいることは、御子イエス・キリストの中にいることです。これは、彼らの中にいるという私たちの経験の中で、彼らが一であることを意味します。

V. 「自分の神を知る者たちは、力を示して事を行ないます」(ダニエル11:32):

ダニエル11:32 彼は滑らかな言葉をもって、契約を破る者たちに、冒とくさせます。しかし、自分の神を知る者たちは、力を示して事を行ないます。

A. 神を知ることは、私たちを力強くします。私たちの力は、私たちがどれだけ神を知っているかにかかっています。

エペソ1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ、3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。

B. 神を知っている人たちだけが、力を示して事を行ないます:

1. 神を知っている人たちは、力強くなって事を行ない、自分の視野を広げ、自分の限界を拡張し、神のために新しい地を切り開きます。

2. 今日、地上において神は、このように神を知っている人たちを必要とします。

神を知ることは私たちを強めることができます。多くのとき、私たちが弱いのは神を知らないからです。私たちの力は、私たちがどれだけ神を知っているかにかかっています。神を知っている人たちだけが、力を示して事を行ないます。「事を行なう」とは「拡大する」を意味します。神を知っている人たちは、力強くなって事を行ない、自分の視野を広げ、自分の限界を拡張し、神のために新しい地を切り開きます。今日、地上において神は、このように神を知っている人たちを必要とします。

経験(ビジネス・ライフ編):

- ① クリスマンになった後、私たちは一方では、神のみこころと神の働きを知ることが学ばなければなりません。またもう一方では、神の道、すなわち神が私たちを対処する方法を知ることが学ばなければなりません。…神の子供たちの間の今日の大きな問題は、私たちがあらゆる事で私たちを中心としており、私たちの利益を謀っていることです。しかし、神はこれを許されません。神は私たちを、全く彼に服従する点にまでもたらしたいのです。この事が解決される時、すべての他の問題は消え去ります。

信者であり、ビジネス・パーソンであるあなたは、ビジネスにおける繁栄を追求する前に、先ず、神を神とし、彼に感謝し、彼の道、彼が私たちを対処する方法を受け入れる必要があります。あなたは神の御前にひれ伏して言うべきです、「神よ、あなたがなさるすべてのことは正しいです。私は間違いますが、あなたは決して間違われません」。これが神の道を受け入れる方法です。神と彼の道を知り、受け入れるとき、あなたと神の関係が正しくなるので、あなたは祝福の源である神につながり、ビジネスにおいて神の祝福の下で繁栄を享受し、神を証しすることができます。

ローマ1:20 神の見えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません。21 彼らは神を知っていながら、神として彼に栄光を得させず、感謝もせず、かえって彼らの思考はむなしくなり、彼らの愚かな心は暗くなりました。25 彼らは神の真実を虚偽に変え、そして創造主ではなく被造物を拝み、それに仕えました。創造主こそ永遠にほめたたえられるべきです。アーメン。

- ② 神を知っている人たちだけが、力を示して事を行ないます。「事を行なう」とは「拡大する」を意味します。神を知っている人たちは、力強くなって事を行ない、自分の視野を広げ、自分の限界を拡張し、神のために新しい地を切り開きます。今日、地上において神は、このように神を知っている人たちを必要とします。

神と彼の道を知った後、あなたはビジネスにおいて、力を示して事を行うことができます。多くの時、あなたが弱いのは、神を知らないからです。あなたの力は、あなたがどれだけ神を知っているかにかかっています。ビジネスにおいて、様々な事柄が急激に変化するので、あなたの狭い視野や能力の限界にとどまっていると変化に対応することができません。毎朝、兄弟姉妹と共に御言葉を祈り読みし、神を享受し、神を新鮮に知り、ビジネス・ライフにおいて力を示して事を行い、神の証しのために新しい道を切り開いてください。

537 内側の命の各面—三部分から成る人

1. ひととは三部分から成り, からだ, たましい, 霊がある, それで主を享受し, 永遠の計かく成就す。
2. からだはがい面の部分, 物しつ of の感かくを持つ; 外面のものに触れ, かたちをもて表現す。
3. たましいは内面の部分, まことにひとそのもの; それは心理てきで, 精しんかいに触れる。
4. 霊はひとの最深の部分, かみと接しよくするため; かみを受け入れて, 霊の世かいに触れる。
5. ひとのたましいのうちに, おもい, 感情, 意志がある; ひとの機 of のう持ち, ひとのねがい果たす。
6. 良心, まじわり, 直かくは, ひとの霊のなかにある; それは霊でかみを 礼拝して触れるため。
7. たましいの諸部分もちい, かみをつねに選たくす; 霊でかみを享受し, からだ通し表現する。
8. 霊は再生でいのち持ち, たましいつくり変えられ, からだは変貌され, 栄光のからだとなる。
9. ひとの三部分はすべて, 神聖なはたらきにより, 主と混ざり合って, 完全に主を表現する。

742

1. Man is a being of three parts,
The body, soul, and spirit too,
Th' eternal purpose to fulfill
With God's inheritance in view.
4. The spirit is the inmost part
With which the Lord he may receive;
The sense of God it gives to man
That he the spirit-world perceive.

537 裡面生命的各方面—三而一の人

1. 受造之人是三部分, 有體、有魂並且有靈, 為著成全神的計畫, 並得享受神作供應。
2. 身體乃是外面部分, 藉此人有物覺功能; 使人接觸物質世界, 將人自己顯於體形。
3. 魂乃是人裡面部分, 是人自己, 給人自覺; 藉此人在心理方面, 能以接觸精神世界。
4. 靈乃是人最深部分, 在人深處給人神覺; 使人藉此能接受神, 且能接觸屬靈世界。
5. 在人魂中有三部分: 心思、意志以及情感; 這是人的各種功能, 用以成全人的意願。
6. 在人靈裡也有三部: 交通、直覺以及良心; 藉此人能與神交通, 也能敬拜並接受神。
7. 人須運用魂的各部, 將神所是全都揀選; 並用靈來將神接受, 且藉身體將神彰顯。
8. 人靈需要神來重生, 得著神的非造生命; 人魂需要神的變化, 體需變成基督榮形。
9. 藉著這些神聖工作, 人在他的每一部分, 都得與主完全調和, 並能完全彰顯主神。

6. Within the spirit of the man,
Are found the conscience, fellowship,
And intuition, which thereby
The man to worship God equip.
7. The man must exercise his soul
To choose that God he may possess,
And by his spirit God partake,
And thru his body God express.
8. Man's spirit has to be reborn
With life divine to him conveyed;
His soul must be transformed by God,
His body like Christ's body made.